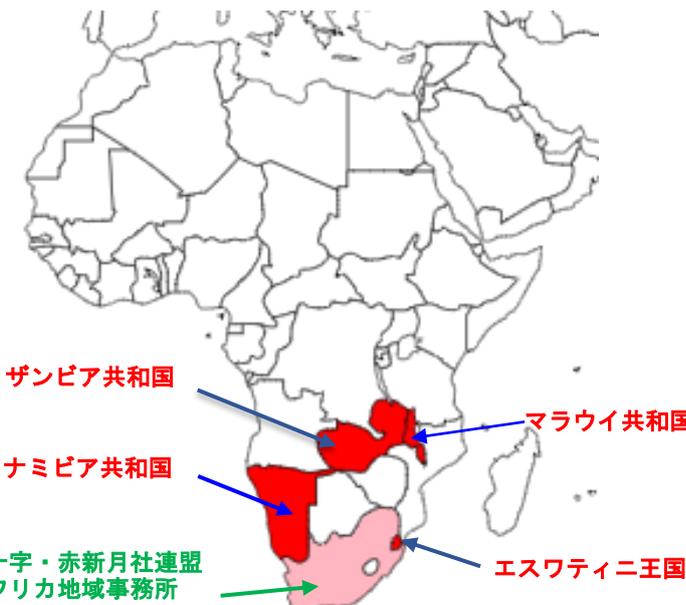


南部アフリカ地域保健・教育支援事業

対象国・地域	ナミビア共和国、マラウイ共和国、エスワティニ王国、ザンビア共和国
事業概要 (経緯・背景)	<p>国連共同エイズ計画 (UNAIDS) によれば、HIV 感染者は世界で約 3,770 万人、そのうちサブサハラアフリカ (アフリカのうちサハラ砂漠より南の地域) の感染者数は約 2,530 万人と約 67% を占めており、同地域は世界で最も HIV 感染症の影響を受けている地域とされています (2020 年, UNAIDS DATA)。また、HIV の感染予防・対策には、保健や医療分野の取り組みだけでなく、人々の生活を安定させる生計支援や教育など包括的な支援が必要です。</p> <p>日本赤十字社は、南部アフリカ地域における HIV 感染症/エイズ対策をはじめ生計支援や教育などの事業実施を強化するため、2003 年～2010 年までジンバブエに対し、二国間で HIV/エイズ対策事業を実施しましたが、2011 年からはより国際赤十字・赤新月社連盟を通じて支援を行っています。毎年特にニーズが高い国を選定して支援しており、これまでに同地域の合計 9 カ国に支援を届けてきました。</p>
事業期間	2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日
場所・対象	<ul style="list-style-type: none"> ・国際赤十字・赤新月社連盟南部アフリカ地域事務所 (在南アフリカ共和国) ・ナミビア共和国、マラウイ共和国、エスワティニ王国、ザンビア共和国 
目標	対象地域における HIV 感染症/エイズの影響を軽減し、人々の健康を改善する。
成果	<p>成果 1 HIV 感染症/エイズに関する知識を向上させ、地域住民自身が健康へのリスクを認識し、その危険を回避できるようになる。</p> <p>成果 2 エイズで親を失くした子どもや貧困家庭向けに経済的・心理的支援を行い、特に弱い立場に置かれた人々の健康と尊厳が保たれる。</p> <p>成果 3 各国赤十字社の能力を強化し、事業の質と効率性が向上する。</p>
活動内容	<p>【ナミビア】 キッズクラブ (学童保育) の運営、食料・生活用品の配付、家庭訪問と訪問看護、菜園指導など</p> <p>【エスワティニ】 診療所の運営、HIV 等の検査・カウンセリング・治療、食料・生活用品の配付、家庭訪問と訪問看護、キッズクラブ (学童保育) の運営、啓発イベント</p>

	<p>トの実施、学校での性教育</p> <p>【マラウイ】</p> <p>保育所への支援（乳児への昼食の提供を含む）、栄養教室の実施、中等教育過程にある生徒への奨学金制度、ユースクラブ・ガールズクラブの運営、家庭訪問と訪問看護</p> <p>【ザンビア】</p> <p>HIV 感染症/エイズの影響を受けた孤児等への物資支援、ザンビア赤十字社職員及びボランティアへの感染症予防知識の研修の実施等</p>
事業費総額	18,000 千円